

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 5 月 15 日

事業所名 スマイルキッズティーダ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2		・活動内容に応じて部屋を分けている。	・活動内容や人数に応じて部屋を分けて工夫しています。
	2	職員の配置数は適切である	8			・基準以上の人員配置を行っています。	・児童指導員を基準以上の人数配置をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5	3		・危険箇所はすぐに対応しています。 ・階段の昇降時は職員配置し工夫しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8			・事業所内ミーティングを全職員参加できるように調整しています。	・これからもPDCAサイクルを活用して全職員で取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			・アンケート結果を全職員で把握し業務改善に努めています。	・アンケートで頂いた意向は職員で確認し、業務改善を行います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			・月に1回えがおだよりを配布、ホームページ公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1		・外部講師をお招き、アドバイスを頂き業務改善に繋げています。	・頂いた評価を業務改善に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・外部講師を招いて研修を行っています。	・全職員参加で研修を行い、資質向上に向け取り組んでいます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1		・事前にニーズや課題を確認し計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1		・アセスメントシートを活用しています。	・アセスメントツールの確認を周知徹底しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			・利用児童に配慮しプログラム作成しています。	・ミーティングでプログラム作成し、支援の向上に努めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・児童の成長に繋がるよう工夫しています。	・児童が満足した活動を行えるよう工夫していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			・活動内容、目的を伝え支援しています。	・普段経験できない活動を取り入れスケジュール作成しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			・いろんな経験ができるように工夫しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			・朝礼を行い、スケジュール、送迎、支援内容の確認をしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		・勤務終了時、気づいた事や気になった事を振り返っています。	・就業時間の異なる場合は、記録で共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・連絡帳や個別日誌に記録しています。	・児童の変化や支援内容の記録することを徹底しています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8				・更に細かなモニタリングをしていきます。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8			・基本活動を組み合わせ合わせて支援しています。		

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	8			・児童発達支援管理者 が参加し、支援内容につ いて細かく報告していま す。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	8			・情報共有がスムーズに 行えるように担任の先生 に挨拶を行い緊急連絡 先をお渡ししています。	・保護者、学校から情報を頂き急な変更にも対応できる よう努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		8			・今後医療ケアが必要な児童に対しては、主治医との連 絡体制を行います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4	4		・支援会議にて情報 共有を行っています。	・就学前の児童がいません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	2	6		・該当児童はいませんが 他事業所に移行する際 に情報共有を行っていま す。	・当事業所は中学生を主に支援を行っているので障が い福祉サービス事業所への移行の実績がないが、他事 業所へ移行する場合は丁寧に情報共有していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3	2	3		・研修は職員に周知して参加できるようにしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		6	2		・今後、地域の児童と交流会を計画していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	3	3	2		・今後、地域自立支援協議会に積極的に参加してい きたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	8			・送迎時に様子を伝え、 電話やメールで共通理 解に努めています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	6	2		・講師を招いて保護者向 けのペアレント相談会を 行っています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8			・契約時に丁寧に説 明を行っています。	・今後も丁寧にわかりやすく説明できるよう努めます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	8			・日頃から相談しやす い環境を整えていま す。	・今後も気軽に相談できるよう連絡帳や電話、メールな どで受付、助言など行い、支援に努めます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	8			・今年度は1回保護者 会を開催しました。	・次年度は保護者会(情報交換会)を2回計画していま す。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	8				・苦情ボックス設置をお知らせしていますが完全に周知 できていないので再度お知らせします。・苦情があつた 場合は迅速に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7	1		・ホームページ、えがお だより、連絡帳にて行事 予定を発信しています。	・年間スケジュールを年度始めに配布し、ホームペー ジでも周知しています。
	35	個人情報に十分注意している	8			・鍵付きロッカーにて 保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8			・特性に配慮し、伝達 の工夫を行っています。	・日頃の様子を連絡帳やえがおだよりで周知し、送迎時 に申し送りを中心とした保護者との連携を行います。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	6	2			

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			・ホームページにて各マニュアルをUPして周知しています。	・全マニュアルをホームページ記載し、保護者の方々へ周知を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			・訓練を行い、記録をしています。	・年に4回避難訓練を行い、非常時の際に対応できるようにしていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			・事業所内研修、外部講師からのアドバイス頂いています。	・事業所での虐待研修を年に4回行い、日々の支援に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1		・個別支援計画に記載し保護者の方々へ丁寧に説明をしています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	6			・アレルギー対応に対して全職員で確認を行います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		・記録を残し、職員間で共有しています。	・ヒヤリハット事例集の読み合わせして、対策を行い、事故防止に努めます。